

水産宮崎

SUISAN MIYAZAKI



2015
02
No.635

男女参画の漁業振興を行う



オサカナデシコナイト



オサカナデシコナイト



オール九州食品商談会

CONTENTS

FISHING POLITICS

漁政

第55回宮崎県
青年・女性漁業者交流大会

売船案内

平成27年度漁業生産統計

平成27年1月属人水揚げ表

BUSINESS

業務情報

初出港！
「進洋丸」いざ、大海原へ

内部担当者会議(製氷・石油・資材)

JF 南郷かつお船への
AED設置に伴う説明会

FISHERIES CO-OPERATIVE

漁連情報

オール九州食品商談会

「オサカナデシコナイト」開催

「初かつおは宮崎!! 2015宮崎初かつお
フェア」がまもなく始まります

FISHERIES EXPERIMENT

水産試験場

マダイ・ヒラメの放流効果
について

-資源部-

12月の動き(県関係)

1月の動き(県関係)

RELATED ORGANIZATION

関係機関

宮崎県
漁協職連ボウリング大会

1月の動き



水産宮崎ダウンロードサービス

※必要な方はコチラから A4 サイズで出力出来ます。

第55回宮崎県青年・女性漁業者交流大会

1 月7日(水)水産会館5階大研修室において、第55回宮崎県青年・女性漁業者交流大会が開催された。今年度は3件の取組みについて報告された。

1.「宮崎発!「へべすぶり」誕生奮闘記」～養殖経営安定への挑戦～

北浦漁協 養殖研究会 堀田 洋氏

2.「串間のおさかな食べてみてん!」～消費者の食卓を見つめる漁師たちの挑戦～

串間市東漁協 串間のおさかな消費拡大促進グループ 川崎 隆洋氏

3.「地域連携の結晶 浜うどん」～女性部組織の垣根をこえて～

川南町漁協 チームがはは 岸本 フミ子氏



上記の発表後に審査講評が行われ、今年度は串間市東漁協 串間のおさかな消費拡大促進グループ 川崎隆洋氏、川南町漁協 チームがはは 岸本フミ子氏が東京で開催される全国大会に出場することとなった。

売船案内

船名	伸栄丸
トン数・馬力	4.90トン/90PS
主機	ヤンマー 6GH-UT (種類:ディーゼル)
馬力数	380ps
長さ×幅×深さ	11.00×2.50×0.90
船質	FRP
進水年月日	平成7年7月24日
設備	1W 魚探、GPS、発電機、 オートパイロット 他
備考	すべてOH済で、 その後50時間程度使用のみです。

お問い合わせ先

岡元 勝吉 (船主)	0985-86-0610(携帯:090-1870-0447)
宮崎市 漁業協同組合	0985-65-1011



平成27年1月属人水揚げ表

上段 数量: トン
下段 金額: 千円

漁協名 漁業種類名	かつお 一本釣	まぐろ 延縄	旋網	曳縄	底曳網	船曳網	定置	養殖	その他	合計
北浦			7,538		13		16	1	2	7,570
			389,079		4,514		10,577	2,162	1,618	407,951
島浦町		27					11		2	1,697
		27,240	76,689				2,775	25,764	1,188	133,655
延岡					2	5			0	7
					985	1,103				3,461
延岡市	1			0	9	2	15	0	6	32
	132			156	2,981	579	9,394	171	4,218	17,631
庵川		45	12			4		8	4	76
		30,249	1,309		2,009		3,984	3,704	3,604	44,859
門川		2		0	3	1			3	10
		3,775		38	1,155	749			2,636	8,354
日向市	3	236			0		14		11	265
	2,033	123,082			81		8,828		7,724	141,749
都農町		37		2					7	46
		23,591		970					5,619	30,180
川南町		252		18	0				17	287
		133,193		14,599	41				14,057	161,889
一ツ瀬				2	2				14	17
				1,735	1,390				10,094	13,219
穂浜					1	5			3	8
					507	1,070			2,020	3,597
宮崎		79				48			11	138
		34,977				13,578			6,280	54,834
宮崎市		26	9	2	5	13	6		2	62
		16,846	1,421	1,854	2,719	2,703	4,427		2,638	32,607
日南市	47	175		1			5		12	241
	18,489	97,733		538			4,022		8,847	129,629
南郷		32		12			26		3	72
		16,219		10,404			10,029		2,195	38,846
栄松		3		7					0	10
		3,857		5,525					82	9,465
外浦	77	51					13		0	141
	28,532	25,882					6,048		183	60,645
串間市東		17		7			48		4	76
		9,298		7,758			19,247		2,259	38,561
串間市				1	0	1	1	1,340	3	1,346
				646	5	1,916	636	736,954	2,344	742,501
合計数量	128	983	9,190	51	39	74	161	1,372	104	12,101
〃 金額	49,186	545,941	468,499	44,223	16,387	21,697	79,967	768,755	78,977	2,073,633
(魚価)	385	555	51	863	424	293	497	560	761	171
前年数量	110	704	4,492	80	53	132	321	1,489	115	7,496
〃 金額	48,450	463,580	301,568	49,369	17,087	30,082	105,022	833,310	66,489	1,914,956
(魚価)	440	658	67	615	324	229	328	560	576	255
数量増減	18	279	4,698	-29	-14	-57	-160	-117	-12	4,606
〃 対比(%)	16.0	39.6	104.6	-36.2	-26.9	-43.7	-49.8	-7.9	-10.0	61.4
金額増減	736	82,361	166,931	-5,146	-700	-8,385	-25,054	-64,554	12,488	158,677
〃 対比(%)	1.5	17.8	55.4	-10.4	-4.1	-27.9	-23.9	-7.7	18.8	8.3
魚価増減	-55	-103	-16	248	101	64	169	1	184	-84
〃 対比(%)	-12.5	-15.6	-24.1	40.3	31.1	28.0	51.6	0.1	32.0	-32.9

FISHING POLITICS

平成27年度漁業生産統計

漁協名\区分	1月分			1月末累計			昨年同月累計			増減		魚価対比 %
	数量 t	金額 千円	魚価 円/kg	数量 t	金額 千円	魚価 円/kg	数量 t	金額 千円	魚価 円/kg	数量 t	金額 千円	
北浦	7,570	407,951	54	7,570	407,951	54	3,860	271,682	70	3,710	136,269	-23.4
島浦町	1,697	133,655	79	1,697	133,655	79	723	114,913	159	974	18,742	-50.5
延岡	7	3,461	490	7	3,461	490	13	4,846	374	-6	-1,385	31.1
延岡市	32	17,631	547	32	17,631	547	44	19,980	449	-12	-2,349	21.7
庵川	76	44,859	588	76	44,859	588	86	44,646	520	-10	213	13.1
門川	10	8,354	850	10	8,354	850	14	7,089	509	-4	1,265	66.9
日向市	265	141,749	536	265	141,749	536	301	155,176	516	-36	-13,428	3.8
都農町	46	30,180	656	46	30,180	656	45	30,745	679	1	-565	-3.5
川南町	287	161,889	565	287	161,889	565	210	147,676	703	77	14,213	-19.7
一ツ瀬	17	13,219	783	17	13,219	783	13	10,302	818	4	2,918	-4.2
檉浜	8	3,597	444	8	3,597	444	7	3,657	489	1	-60	-9.3
宮崎	138	54,834	396	138	54,834	396	77	31,608	410	61	23,227	-3.3
宮崎市	62	32,607	523	62	32,607	523	65	39,566	607	-3	-6,959	-13.9
日南市	241	129,629	539	241	129,629	539	210	113,260	539	30	16,369	0.0
南郷	72	38,846	539	72	38,846	539	93	35,835	384	-21	3,011	40.2
栄松	10	9,465	909	10	9,465	909	13	7,189	562	-2	2,276	61.6
外浦	141	60,645	430	141	60,645	430	139	58,761	423	2	1,884	1.6
串間市東	76	38,561	509	76	38,561	509	160	43,982	274	-85	-5,421	85.8
串間市	1,346	742,501	552	1,346	742,501	552	1,422	774,043	544	-76	-31,542	1.3
合計	12,101	2,073,633	171	12,101	2,073,633	171	7,496	1,914,956	255	4,606	158,677	-32.9

端数処理の関係で、下1桁が合わない部分があります。

♪海とっしょに 浜とっしょに♪

元気に暮らそう JF 共済

チョコ くらし カサヤ リコー
 ねんきん ランエシ なぎや年金

漁業協同組合・JF共済推進本部
<http://www.kyosuiren.or.jp>

ナチュラルミネラルウォーター

美泉水

お問い合わせ先
 本所業務部 0985-28-6111
 延岡支所 0982-37-0030
 日南支所 0987-23-5231

初出港！「進洋丸」いざ、大海原へ

去る1月8日(木)、宮崎県立宮崎海洋高等学校実習船進洋丸の「第2次長期乗船実習航海(72日間)」出港式が宮崎港内で開催された。

今回の実習航海には、2年A組(漁業系)の生徒34名、指導教官2名、乗組員20名、合計56名が乗船。出港式には、生徒、家族、友人、来賓、学校関係者ら多数参列し、一時の別れを惜しみ航海の安全を願った。航海中はハワイ沖で延縄漁業実習に加え、海洋観測や航海術等を学ぶ。

また、寄港地のハワイにおいては、地元の高校生と国際交流を予定している。

宮崎帰港時には、心身ともに成長した、たくましい生徒がみれることでしょう。



内部担当者会議 (製氷・石油・資材)

1月19日(月)に内部製氷担当者会議、1月22日(木)に内部石油・資材担当者会議が開催された。両会議共に、平成26年度12月末実績及び平成27年度計画について資料に沿って各担当者が説明した。

その後、製氷においては経営改善策について、現在心掛けていることや、これから実施していこうと考えている策について協議した。石油・資材においては棚卸しに係わる資産自己査定について総務課より査定の仕方と注意点の説明を受け、次の資産自己査定に備えた。

最後に、今後実施予定の業務について理解を深め、閉会となった。

両会議共に、各担当者同士の意見を共有することができ、実のあるものとなった。



JF南郷かつお船へのAED設置に伴う説明会

去る1月26日(月)に、JF南郷所属かつお一本釣漁船13隻がAEDを設置し、それに伴い同JF会議室にてメーカー担当者がAEDの基本的な使用方法を実物とマネキンを使いながら説明した。

外部からの救急対応が困難な洋上においては、予めから必要性が叫ばれていたが、同JFまぐろ漁船第51喜福丸にて船員が操業中に倒れた際に、AED使用により一命をとりとめた事例も後押し、かつお船への設置要望が高まっていた。

説明会には、かつお船の漁労長他船員40名以上が参加し、救命に対する意識の高さが窺えた。

救命処置の正しい知識を得た上で、万が一の際にはAEDが有効に活用され、1人でも多くの命が救われることを強く願うものである。



オール九州食品商談会

1 月29日(木)から2日間、インテックス大阪にて行われたオール九州食品商談会(主催:一般財団法人九州経済連合会)に出展した。同商談会は高い商品価値を持つ九州の農畜水産物、加工食品などについて九州外への販路拡大を目指すもので、今回が初開催。関西圏を中心とする飲食店や量販店のバイヤーが多数訪れた。本会ブースではe-かんぱちやハモ骨切り、シイラフィーレ、オサカナデシコ商品などを展示。今後の販路拡大につながるようPR活動や個別商談を行った。



「オサカナデシコナイト」開催

1 月22日(木)、東京都千代田区の新丸ビルにて『オサカナデシコナイト』を開催した。女性をターゲットにしたプライベートブランド商品『オサカナデシコ』のブランド発表や宮崎の魚について紹介したほか、立食パーティー形式で試食会を行った。試食にはマグロを使ったコロッケやメヒカリ唐揚げ、カツオ漬け丼などを提供。事前に募集した一般女性やマスコミ関係者ら約50人から商品の感想や要望を聞くとともに、ファン拡大とPRを図った。



人と自然との調和

漂白剤

薬用ソルトハミガキ

わかしお を使おう!

資材の購入はJFグループ(漁協・漁連・全漁連)へ

「初かつおは宮崎!!2015宮崎初かつおフェア」 がまもなく始まります

全国に先駆けて水揚げされる新鮮でおいしい旬のかつおを県内外の皆様にお召し上がっていただきたく、平成27年3月24日(火)から5月10日(日)までの48日間、「2015宮崎初かつおフェア」が開催されます。

宮崎初かつおフェア実行委員会(事務局:宮崎のさかなビジネス拡大協議会・宮崎県おさかな普及協議会連合会)が主催となり、県内外約300店舗のお店に参加いただきます。

様々なメディアやイベント等を活用し、県内外の皆様にご周知することにより、近海かつお一本釣り日本一の本県が、「初かつおは宮崎!!」と言われるよう、かつお消費量におきましても日本一を目指します。

御承知のとおり、宮崎獲れの初かつおは漁獲量だけでなく抜群の鮮度と味を誇っています。

新鮮なお刺身や焼っ切り(やっきり)など、さわやかな春の味覚、宮崎獲れの初かつおをこの機会に是非ご賞味ください。

今年は節目の10周年記念ということで、当フェア参加店は金色ののぼりが目印となります。そこで、食事、購入等をされた方々には、参加店に配布されている応募はがきからご応募いただくと、豪華ホテルや本県の水産加工品に加えまして、新たに宮崎カーフェリー様の御協賛によります宮崎神戸間往復の1等室も抽選対象景品に加わり、お楽しみが増しております。

なお、今回の参加店は、3月中旬に宮崎のさかなビジネス拡大協議会のホームページに掲載させていただきます。

また、今回御協賛いただきました団体・企業様は次のとおりです。

お陰様で「2015宮崎初かつおフェア」が実施できています。改めて、御厚意に深く感謝申し上げます。



協賛店舗

宮崎県漁業協同組合連合会、宮崎県かつお・まぐろ漁業者協会、宮崎県かつお漁業対策協議会、日向市漁業協同組合直営店・海の駅ほそしま、門川漁業協同組合直営店・海遊物産館うみすずめ、宮崎市漁業協同組合直営店・漁師の味 港あおしま、南郷漁業協同組合直営店・港の駅めいつ、宮崎県漁業協同組合連合会関係店・魚乃里ぎょれん丸、(株)宮崎魚市場、(株)都城市中央魚市場、(株)小林魚市場、宮崎市観光協会、日南市・日南市観光協会、宮崎県信用漁業協同組合連合会、全国共済水産業協同組合連合会九州事業本部 宮崎支店、宮崎県漁業共済組合、宮崎県漁船保険組合、宮崎県漁業信用基金協会、アサヒビール(株)、霧島酒造(株)、米良電機産業(株)、雲海酒造(株)、キリンビールマーケティング(株)、フェニックス・シーガイア・リゾート、宮崎観光ホテル、ANAホリデイインリゾート宮崎、ホテルジェイズ日南リゾート、ホテルシーズン日南、宮崎カーフェリー(株)、九州旅客鉄道(株)宮崎総合鉄道事業部、宮崎空港ビル(株)、宮崎県ホテル旅館組合生活衛生同業組合

**資材の購入は系統へ
漁協・漁連・全漁連**

お問い合わせ先
宮崎県漁業協同組合連合会業務部 TEL 0985-28-6111

FISHERIES CO-OPERATIVE

マダイ・ヒラメの放流効果について

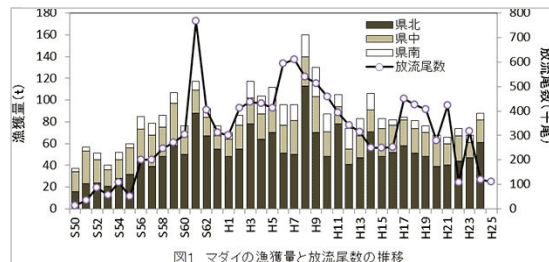
- 資源部 -

本県では、昭和49年からマダイ、昭和60年からヒラメの放流に取り組んでいます。平成26年度は、5月から8月にかけて、県下一円にマダイ16万尾、ヒラメ36万尾が放流されました。さて、この放流したマダイ、ヒラメはどのくらい漁獲されているのか、またその放流効果はどうか、市場調査による最新の調査結果をお知らせします。

1.マダイの放流効果について

1)漁獲量・放流尾数の推移

本県マダイの漁獲量は、昭和50年代前半は50トン前後で推移していましたが、本格的な種苗放流が始まった昭和55年以降増加し、平成8年には過去最高の160トン記録しました。しかし、平成9年以降減少し、近年は70～90トンで概ね横ばい傾向にあります。放流尾数は、昭和49年に放流が開始されて以降、徐々に増加し、平成6、7年には60万尾を超える種苗が放流されています。その後は、種苗の大型化に伴い尾数は減少し、近年は10万尾程度が放流されています(図1)。



2)放流魚の混獲状況

平成10～24年において、マダイ漁獲量の3～14%(平均7%)にあたる2～13トン(平均6トン)が放流魚と推定されました。また、生産額では全体の3～12%(平均7%)にあたる3～25百万円(平均1千万円)が放流魚と推定されました(図2、3)。

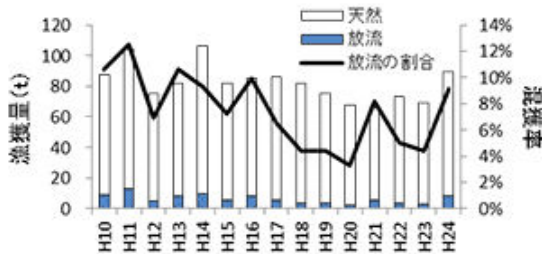


図2 放流魚の混獲状況(重量)

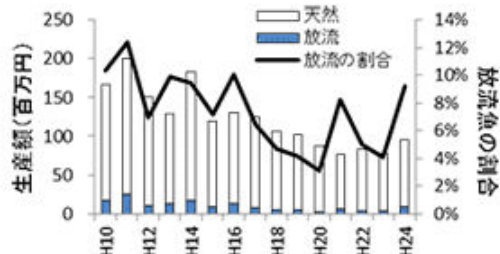


図3 放流魚の混獲状況(金額)

3)放流魚毎の回収状況

平成10～23年に放流した群のうち、放流後7年間の追跡調査を終えた平成10～18年放流群の回収率は0.6～1.9%(平均1.2%)、回収金額は3～15百万円(平均8百万円)、費用対効果は0.5～2.9倍(平均1.2倍)と計算されました(図4、5)。

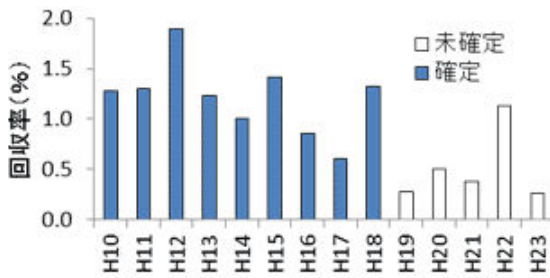


図4 放流魚の回収率

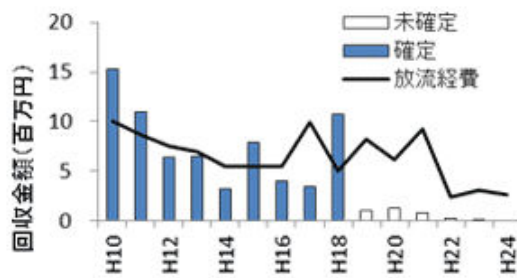


図5 回収金額と放流経費

4)近年のマダイ資源の動向

図6に昭和57年から平成24年までの若齢魚(0~2歳)と成魚(3~6歳)の漁獲尾数の推移を示しました。まず若齢魚の漁獲尾数ですが、昭和59年には15万尾を超える漁獲があったのですが、漸次減少していき、平成10年以降は3万尾以下に減少しています。一方成魚の漁獲尾数は昭和57年から63年までは2万尾台の漁獲でしたが、平成元年以降徐々に増加し平成8年には5万尾台となり、その後も3万尾台の漁獲が維持され、年によっては若齢魚の漁獲尾数を上回ったりしています。「若齢魚は減っているのに成魚はいる」、このことは、成魚が他海域から移入していることが考えられます。

本年度9月に開催されました第4回資源評価委員会ではこのことが取り上げられ、提言では、漁獲量の下支えと考えられる移入群の動向と環境変化を注視し、継続したモニタリングが望まれるとされました。

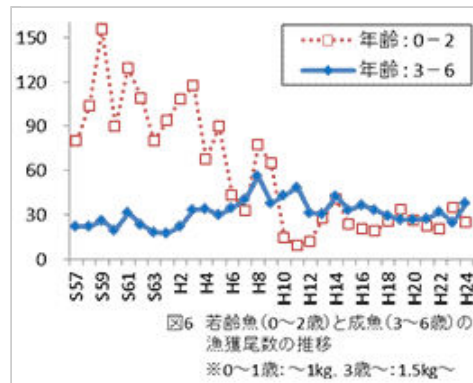


図6 若齢魚(0~2歳)と成魚(3~6歳)の漁獲尾数の推移
※0~1歳:~1kg. 3歳~:1.5kg~

2 ヒラメの放流効果について

1)漁獲量・放流尾数の推移

本県ヒラメの漁獲量は、平成元年の24トン为基础として増加傾向に転じ、平成8年は76トンと、放流が開始された昭和60年の2倍近い漁獲量となりました。しかし平成9年から11年にかけて減少し、15年には30トン进行分割込み、その後平成17年、18年に一旦40トン台まで回復したものの、再び減少傾向に転じ、平成24年は20トンとなっています。

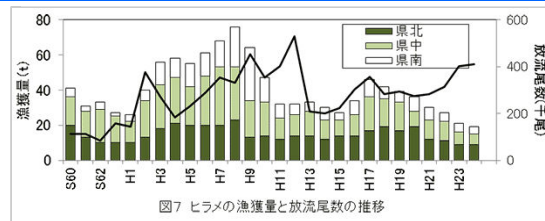


図7 ヒラメの漁獲量と放流尾数の推移

放流尾数は、昭和60年代の約10万尾から徐々に増加し、平成7~12年には30~50万尾の放流が行われています。平成13年に放流尾数が20万尾まで減少したことについては第4次県栽培漁業基本計画で種苗の大型化とそれに伴う放流尾数の縮小方針が示されたことによります。しかし近年は段階的な放流尾数の増大が行われ、30~40万尾が放流されています(図7)。

2)放流魚の混獲状況

平成9~24年において、ヒラメ漁獲量の10~26%(平均15%)にあたる3~18トン(平均5トン)が放流魚と推定されました。また、生産額では全体の9~28%(平均15%)にあたる4~25百万円(平均12百万円)が放流魚と推定されました(図8、9)。

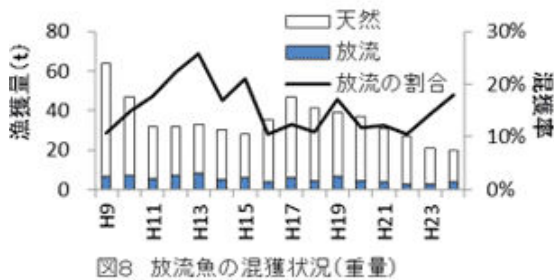


図8 放流魚の混獲状況(重量)

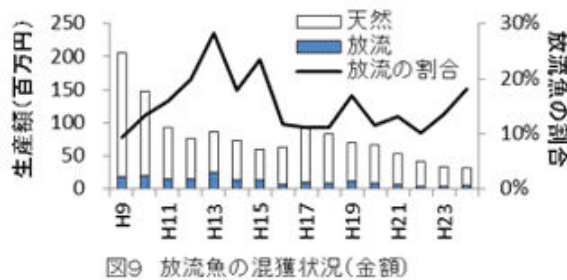


図9 放流魚の混獲状況(金額)

3)放流魚毎の回収状況

平成9～24年に放流した群のうち、放流後9年間の追跡調査を終えた平成9～16年放流群の回収率は2～4%(平均2.8%)、回収重量は4～9トン(平均6.3トン)、回収金額は7～23百万円(平均14百万円)、費用対効果は0.6～1.7倍(平均1.1倍)と計算されました(図10、11)。

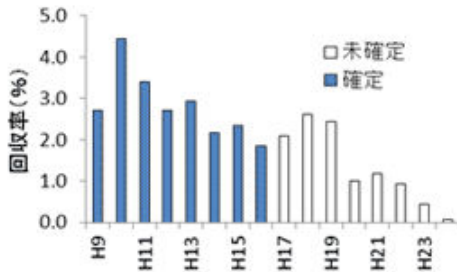


図10 放流魚の回収率

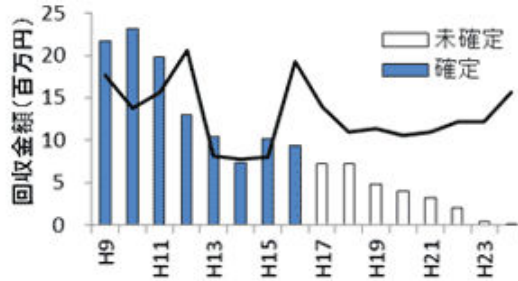


図11 回収金額と放流経費

4)近年のヒラメ資源の動向

本年度9月に開催されました第4回資源評価委員会では、資源レベルは「低位」、資源動向は「減少」とされ、提言では、放流魚は親魚量確保の手段として有効と推測され、海洋環境が好転するまでは親魚量確保のため種苗放流を継続することが望ましいとされました。

5)放流の効果

資源解析の結果、近年の資源量及び親魚量に占める放流魚の割合は概ね10～15%であり、放流は資源量及び再生産に対してある程度の効果が期待できると考えられます(図12、13)。一方、放流群毎の回収率は平均2.8%、費用対効果は平均1.1倍で効果は認められますが更なる向上が望まれます。このうち、近年回収率が減少傾向にあることについてはその原因を検討しているところです。

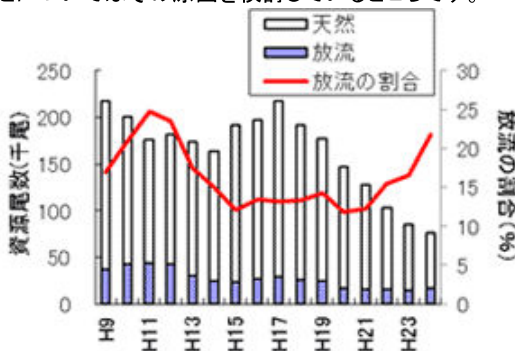


図12 資源尾数の推移

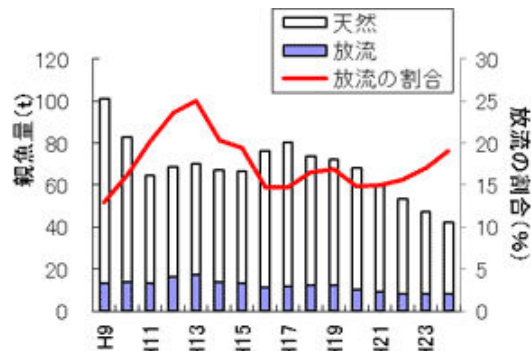


図13 親魚量の推移

12月の動き(県関係)

3日	第2回宮崎県資源管理協議会定例会
22日	第373回海区漁業調整委員会

1月の動き(県関係)

7日	宮崎県青年・女性漁業者交流大会 水産試験場研究成果発表会
----	---------------------------------

宮崎県漁協職連ボウリング大会

宮崎県漁協職員連絡協議会(委員長・片伯部修)は、1月24日(土)延岡サンボウルにおいて、県北地区漁協職連会員40名のもと、平成26年度宮崎県漁協職連県北地区ボウリング大会を開催した。結果は次のとおり。

地区	県北地区				
日時	平成27年1月24日(土)	場所	延岡サンボウル	参集範囲	JF北浦～JF日向市
参加者数	40名				
優勝	甲斐守昭(JF延岡市)	2位	畦原憲仁(JF島浦)	3位	中田大路(JF北浦)

1月の動き

5日 仕事初め式 7日 第55回宮崎県青年・女性漁業者交流大会



これからもよろしく大漁オイル



これからもよろしく大漁オイル

JFライフジャケットA

(自動膨張式救命胴衣)



膨張時(前)



膨張時(後)

商品特徴

- ポケットと背中に、系統ロゴマーク「JF」刺繍入り。
- 海中転落事故の捜索費用の助成を目的とした保険を付与。
- ナイロンジャージ素材の襟付きで、首にソフトタッチ。
- 重量わずか540g。
- 浮力11.3kg(体重110kgの方でも大丈夫です)。
- マチ付きポケット採用。
(携帯電話等を入れることができます。)
- ポンプスプール(別売)を交換すれば、何度でも使用可能。
- ホイッスル・エア吹入補助バルブ・緊急手動レバー・反射リフレクター付き。
- 自動膨張式なので、泳ぎが苦手な方も安心。
- 国土交通省型式承認番号:第4458号。

